

こんにちは！7月になりました。いよいよ求人票がオープンとなりましたね。人生でたった一度きりの「新卒入社」のタイミングを大切に、出来る限り多くの業種や職種について考えてみてください。そんな今月は産業別の労働時間や賃金について、厚生労働省のホームページより資料をお借りしました！業種別に色々な事を調べるきっかけにできればと思います♪

TOPIC

いろいろな業種を比較してみよう



※厚生労働省HPより
令和元年度実績

労働時間について

全年齢・全企業規模の1か月の平均値です。

★月間労働時間★	所定内労働	所定外労働		所定内労働	所定外労働
全業種平均	160	13	金融・保険業	144	11
建設業	166	14	不動産業	159	12
製造業	162	17	専門・技術サービス業	155	12
電気・ガス・水道業	149	13	宿泊・飲食サービス業	169	14
情報通信業	154	11	生活関連サービス・娯楽業	165	9
運輸業	166	27	医療・福祉業	159	6
卸売・小売業	162	10	教育・学習支援業	158	5

所定内労働時間は金融・保険業が一番少なく、所定外労働（いわゆる残業時間）は教育・学習支援業が一番少ない事がわかりますね。建設業は所定労働時間が他業種に比べると多いのですが、激的な差ではないように思います。時間外については他業種と比べても差がありません。芦野組でも新入社員の時間外は1ヶ月10時間以内がほとんどです。

賃金について

※5年前の平成27年と比較、企業規模別

★高卒初任給★	(円)		★賃金上昇率★	5人以上 30人以上	
	男	女		5人以上	30人以上
全業種平均	168,900	164,600	全業種平均	102.1	102.7
建設業	177,000	167,200	建設業	108.9	111.3
製造業	167,000	164,200	製造業	103.7	103.7
電気・ガス・水道業	162,600	161,000	電気・ガス・水道業	103.4	104.7
情報通信業	169,600	172,700	情報通信業	100.7	99.6
運輸業	167,500	165,400	運輸業	105.3	104.7
卸売・小売業	170,700	166,200	卸売・小売業	104.8	107.8
金融・保険業	165,800	158,000	金融・保険業	100.2	102.1
不動産業	175,900	160,700	不動産業	100	105.1
専門・技術サービス業	167,600	166,700	専門・技術サービス業	106.2	104.3
宿泊・飲食サービス業	169,700	166,700	宿泊・飲食サービス業	96.8	96.3
生活関連サービス・娯楽業	176,600	168,500	生活関連サービス・娯楽業	102.4	101.9
医療・福祉業	167,200	164,600	医療・福祉業	100.8	101.6
教育・学習支援業	170,100	163,500	教育・学習支援業	98	97.6

左の表は高卒の初任給（令和元年）です。男性では建設業、女性は情報通信業が最も高い数値となっています。右の表は5年前と比較した賃金の上昇率です。こちらは全年齢のものですが、小中どちらの企業規模でも建設業が一番上昇率が高いですね！もちろん業種内でも企業規模や地域によって差はあるので、この限りではありませんが、建設業は工事などの需要はあるのに人手が不足しているという点からも今後の安定・成長が見込める業種だとわかりますね。

まとめ

休日については今回ご紹介出来ませんでした。他業種と比べると建設業はまだ少ない方かもしれません。しかし、ここ数年で現場も週休2日制になったり確実に変わってきています！今ある求人票だけを見るのではなく、他業種との比較や今後の動向なども視野に入れるなど他にも様々な情報を取り入れる事で、今まで考えていなかった業種にも興味が湧くかもしれませんよ。少しでも、これからの皆さんの参考になれば嬉しいです♪